

長畝ふるさと通信



【2023年11月号】

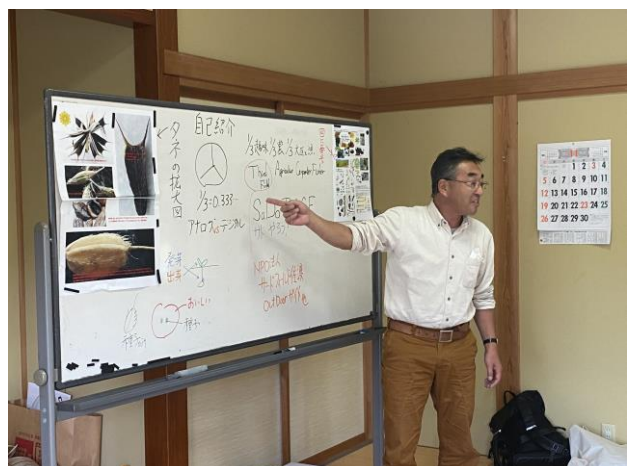
■ 第18回収穫感謝祭を開催しました

11月26日、日曜日。第18回目となる収穫感謝祭を開催しました。「今年は過去最低の不作なんだから収穫祭はやめようよ」とはならず、収量や等級などという数字ではなく、八百万の神様に



今年も収穫できたことを感謝するのだとの強い気持ちで開催しました。恒例の大井作豚汁は本来なら大鍋一杯並々にするところですが、年々参加者が減少して残すのももったいないということで、かなり控えめに作りました。味については18年の経験によってさらにブラッシュアップされていると自己評価しておる次第です。

勉強会ではJA佐渡営農企画課の金田普及員から「種って大事」というテーマで講演して頂きました。彼は元県の普及員でコシヒカリBLの種子開発にも携わったことがある研究者です。「コシヒカリBLマルチラインにおけるイネいもち病の発病抑制機構」について深〜くお話しするのですが、正直専門過ぎてちんぷんかんぷんでした。BLとはブラスト(いもち病)レジスタンス(抵抗性)ライン(系統)の略称であることと、3年おきに4系統の種の配合を変えながら種子配布されているということは理解できました。



子供たちに一番人気の餅つき大会では、今年もまた身長が伸びた彼が参戦し、大いに力を発揮してくれました。1升ほどの小さな臼で2回転させると大人でも息が上がってしまいますが、汗一つかかず杵を振るっておりました。



中東ではイスラエルとパレスチナの紛争が続いています。ガザ侵攻から1ヶ月半が経過し、双方の死者は1万5千人を超えるとか…多くの子供たちが犠牲になっていることに心が痛みます。歴史的な経過は詳しくは知りませんが、当事者同士では到底解決できる問題ではなくなっていることは明らかです。戦争は反対するけど武器はいくらでも提供する傍観者の気が知れません。ロシアのウクライナ侵攻も未だ何の解決にも至らず、今後大国のプーさんやペーさんが暴走したら地球温暖化防止どころではなくなってしまうよな。「政党の裏金がどうのこうの言ってる場合か！北朝鮮の拉致問題は何時になったら本気で動くんだ！」などと熱く語りながらいつまでも酒を呑む感謝祭なのでした…日頃の憂さ晴らしです。

■ 大豆も大打撃

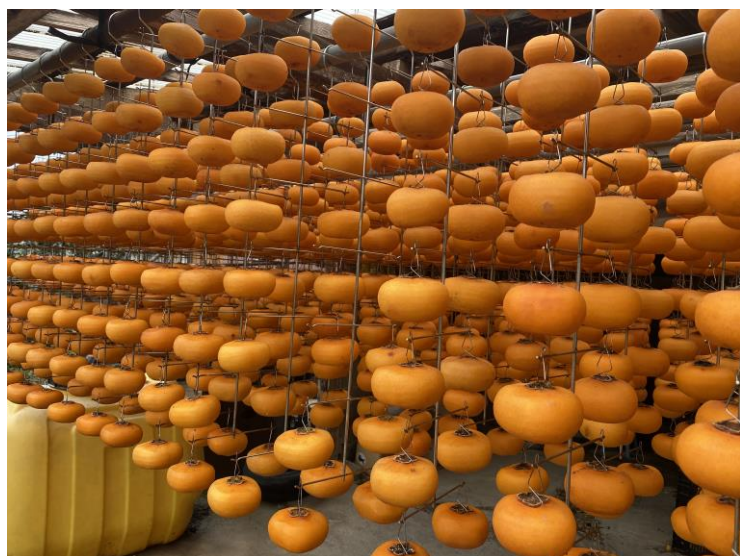
夏の猛暑はコメに限らず大豆のも大打撃を与えました。普段なら稲刈りが終わるところから大豆の茎が枯れだして、11月には収穫を迎えるのですが、今年は鞘に入っている豆も実らず茎は青いまま。このまま収穫しても正品は採れず、唯々大豆の木を刈り倒すのみとなってしまいました。



収穫があれば大豆取組面積に対して国からの水田活用直接支払い交付金や市の産地交付金などの補助金が交付されますが、収穫ゼロではそれすら無くなるのです(共済の災害補償はいくらか出ると思いますが)。1年かけて取り組んだ結果、収穫ナシはホントに堪えます。コメの減収だけでも頭が痛いのに、輪をかけて攻撃されて…散々な年です。

■ 来年に向けて

不幸をいつまでも嘆いていても始まりません。来年はもっと温暖化攻撃にさらされるやも知れません。これまでは費用が掛かりすぎると言って土壌改良材剤の投入や田んぼの改修作業を先伸ばしにしてきましたが、そんな事は言っていられなところまで追いつめられています。やらなきゃやられる…戦争みたいでいやなワードですけどね。



来年は良い年でありますように願掛けながらビール飲みます！